

# 渋谷区立代々木中学校【令和5年度 未来の学校ビジョン】

## ●豊富な人材の活用

- ・教職員
- ・スクールサポートスタッフ
- ・学習支援員
- ・介助員、外国語通訳サポート
- ・部活動指導員、外部指導員
- ・渋谷ユナイテッドコーチ
- ・シブヤ科ファシリテーター
- ・PTA
- ・学校運営協議会
- ・地域学校協働活動推進員
- ・保護者OB・教職員OB

## ●適切な予算執行

- ・学校徴収金
- ・学校予算等

## ●特色ある授業と行事運営

- ・授業（シブヤ未来科含む）
- ・入学式、卒業式
- ・体育祭
- ・もみの木祭
- ・修学旅行、スキー移動教室
- ・各学年校外学習
- ・朝ランニング

## ●整備されたICT環境の活用

- ・タブレット一人一台端末（マイクロソフト・グループウェア、ベネッセ学習支援ソフト等）
- ・校内Wi-fi、校外LTE回線
- ・校務支援ソフトC4th

## ●コロナ禍後の対応

- ・場面に応じたオンライン授業継続実施
- ・心の教育の充実

・デジタル・シティズンシップ教育によるデジタルコミュニケーションの推進と探求的な学びの推進。

・デジタルネイティブ世代を生きる生徒の資質向上

・言語活動を積極的に取り入れた主体的・対話的で深い学びの実施

・「シブヤ未来科」での地域人材や友達とのかかわり等を通して、自分自身のモラルの向上、多様性の理解及び郷土愛の育成。

・綿密な計画、科学的・合理的で能力・体力に応じた練習や活動により、文化・スポーツで活躍できる生徒の育成。

・特別支援コーディネーターを中心とした計画的な特別支援教育の実施。他者を思いやるとともに、自分の「よさ」、他者の「よさ」を発見できる心の育成。

・組織的ないじめ問題への対応を行い、いじめや困り感のSOSを見逃さない、いじめをしない・させない・許さない風土の醸成。

・ICT機器を活用した家庭との連携 Home&Schoolによる文書配布と保護者からの欠席連絡。三者面談の対面・オンライン選択制。

・働き方のクリエイティブ化 部活動地域移行に向けた推進、C4thによる勤務状況の数値化。

・生徒がWord、Excel、PowerPointを日常的に使用し、進学後や将来において直ちに活用できる。

・一人一台端末を有効活用して思考を可視化できるツールを使用し、他者の考えを尊重するとともに、「書く力」、「聞く力」、「話す力」を育てる。

・未来を生きる生徒たちに必要な力である「探究」や「協働」する力を育てる。

・渋谷ユナイテッドと連携し、地域移行に向けた部活動運営を推進する。

・多様な生徒の個性、能力、発達段階に応じた活動による共生社会の形成。

・学級、学年のリーダーの育成を図り、互いの「よさ」を伸ばし合う。

・セーフティ教室、SOSの出し方教室の実施。

・職員会議、校内研修のオンライン活用。

・朝礼、集会等のオンライン活用。

・体育祭、もみの木祭の午前開催、内容精選等 コロナ禍後の実態に即した運営。

・出退勤管理によるライフ・ワーク・バランスの推進。

・ICT機器を日常的に使用できる「学びのツール」として活用できる能力の定着。

・言語活動の充実、「探求」と「協働」による学習の定着。

・デジタル、アナログの長所を活かした教育環境のクリエイティブ化。

・豊かな心の醸成。

・コンプライアンスの徹底。

- デジタル技術を浸透させ、未来の自分に役立てる授業デザインの設計。
- シブヤ科の授業はすべての生徒が生涯に渡るアクティブラーナー。  
新たな学びの実現（未来の学校に向けた学びの改革）
- いじめ、体罰（不適切な指導・暴言含む）、スクール・ハラスメントの根絶。
- 合理的配慮に基づいたインクルーシブ教育。  
安心・安全に挑戦できる環境
- 生活をより便利且つ良いものへ変革。  
校務DX（働き方改革）